

会 議 録	
附属機関又は 会議体の名称	第 2 回 男女平等推進センター運営委員会
事務局(担当課)	男女平等推進センター
開催日時	令和8年 7 月22日(水) 午後3時～4時 40 分
開催場所	男女平等推進センター研修室 2
出席者	委員 濱口 恵子 松本 憲藏 矢口 節子 鈴木 美千花 長島 千代美 渡辺 寛子 大根田 菜穂子 堀江 咲智子 吉川 倫子 男女平等推進センター所長
	事務局 4 名
会議公開の可否	公開・非公開・一部公開 傍聴人 0 名
非公開・一部公開 の場合はその理由	
会議次第	議題 1 事業報告及び今後の予定について 2 エポック10フェスタ2026の開催報告について 3 としまジェンダー平等実現プランの策定等について 4 その他 第 3 回男女平等推進センター運営委員会日程調整等
審議経過 委員長 令和 8 年度第 2 回豊島区男女平等推進センター運営委員会を開会する。 本日は傍聴希望の方はいらっしゃるか。 事務局 傍聴希望の方はいない。 【議題 1】事業報告および今後の予定について 資料1-1 「R8 年度第 2 回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整G)」の説明 —委員からの質疑および意見— 委員 パートナーシップ・ファミリーシップ制度はどのような制度なのか。 事務局 パートナーシップ・ファミリーシップ制度は、一方または双方が多様な性自認・性的指向の 2 人がパートナー関係にあるということを届出され、区が、その届出を受理したという証明書を発行している制度である。証明書により、行政サービスなどを受けられるといったことがある。 資料1-2 「R8 年度第 2 回運営委員会 事業報告(事業企画 G)」の説明 —委員からの質疑および意見—	

委員	大人の総合学習講座はどのような方が参加できるのか。
事務局	特に設けず、興味のある方ならどなたでもという形で募集をする予定。
委員	申込み時期と募集人数は何人か。
事務局	8月18日ごろから募集を開始する予定。9月18日が講師の講義で、9月25日がその講義の内容を受け参加者でワークショップをやる。定員数は異なる。現在9月18日が24名、25日が20名の予定。
委員長	すずらんネット会議代表者会議を実施した時、こういった意見や情報共有があったのか。
事務局	区からの情報提供では、今年の5月に保健所が移転して、新しく「わたしメンテラボ」ができた。そこにぜひ若い人たちも来てほしいので、若年女性支援をしている方、若年女性に限らず若い方の支援をしている方に説明をするため、「わたしメンテラボ」の情報提供を行った。また、昨年度に犯罪被害者支援の制度や条例ができ、その支援の内容を説明した。 意見交換については、支援団体には、支援対象者の年齢制限を設けているところが多い。支援対象者が年齢制限の年齢に達した場合、その先の支援をどうすればいいかを課題に持っている団体が非常に多く、それについての意見交換などを実施した。 支援をしている方が一堂に会しているので、何かみんなで行えることはないかという意見もあった。
委員	出張出前講座の北海道芸術高等学校からの申込みはどういう経緯か。豊島区にとってもメリットがあればいいが、経緯と受けた理由はなにか。
事務局	北海道芸術高等学校は池袋にサテライトキャンパスがあり、そちらから出前講座の申込みをいただいたのが大前提としてある。昨年度、すずらんスマイルプロジェクト関連で北海道芸術高校の方に学生ワークショップに参加いただいたことがご縁で連携をしており、今年のプレ・フェスタでもイラストを拝借して入り口付近に飾らせていただいた。そういったつながりもあり、先方からアンコンシャスバイアスについての出前講座の希望があったので今回実現に至ったという経緯である。
委員	生徒は何人くらいか。
事務局	全学年かどうかはわからないが、この出前講座に限ると、200人くらいと聞いている。 通信制で、出る日と出ない日があり、全員が校舎にずっといるわけではなく、出前講座はオンラインも併用して行くと担当から聞いている。
資料1-3 「R8 年度第2回運営委員会 事業報告(相談 G)の説明」	

—委員からの質疑および意見—

委員 5.関係機関担当者向け DV 基礎研修及び被害者支援マニュアル説明会は、年に一回実施しているのか。

事務局 エポック10で DV の被害者支援マニュアルを作っている。見直し、改訂、修正しながら、毎年人事異動で新しい職員がいろんな窓口で対応する時、二次被害を起こさないために DV の基礎知識を学んでもらい、もし困ったらマニュアルを開くよう、マニュアルの内容の説明を毎年実施している。

委員 参加者は希望制ではなくて、異動された新任の方を基本的に指名するのか。

事務局 関係している所属を指名し、その所属から2、3名は必ず参加するよう依頼している。

委員 参加者は何名くらいか。

所長 毎回40名程度参加している。

委員 DV 被害者がどこの窓口にとどり着くか、そこで初期対応を間違わないようにしなければならない。実際に窓口に来られるケースがあると思うが、その辺の対応のスムーズさの変化は声として上がっているか。

事務局 慣れてない、異動してきたばかりの方は、案件についてどうするか、マニュアルを受けたことにより、これを見れば大丈夫という安心感になるという声は聞いている。

委員 やはりマニュアルにしていつでも確認できるようにすることは大事な活動である。

【議題 2】エポック 10 フェスタ 2026 の開催報告について

フェスタ実行委員、事務局の報告

—委員からの質疑および意見—

委員長 5月29日金曜日午後にプレ・フェスタを行ってみたが、盛況でいい雰囲気という印象だった。フィンランド大使館の方、去年はタイミングが合わず実施できなかったが、今年は調整ができ、登壇していただいたのは良かった。
大正大学の皆さんも、去年とプレゼンと内容も違い、また新しい観点のアンコンシャスバイアスもあるようなので、私自身も結構気づきがあり、プレ・フェスタの時点で面白い企画になってい

と感じた。運営委員会展示のアイデアもすぐに反映し、シールを貼ってもらい可視化できたところも良かった。

委員

プレ・フェスタに関して、金曜日と土曜日、または木曜日と金曜日どちらで実施するかテーマになっている。

会社勤めをしている人などは時間的な制約があり、過去に平日2日間だと参加できないという意見があった。ここ数年は金曜と土曜で開催してきた。今年は土曜日のイベントが少なかったこともあり、土曜日の参加者は少なかった。センタースクエアは、土日はあまり人が入っていない。だからといって木・金にしてもどうなのか。当分議題に上がる内容かと感じる。

ただ、センタースクエアでのプレ・フェスタがスタートした時からだと確実に来場者は増えている。最初の頃は展示を全く見ないで帰っている人が多かったが、今回は参加者がそのまま残って展示を見て、アンケート書いてお土産もらって帰っていく流れだった。方向としてはこのまま続いていくのかなという印象を受けた。

広報の問題がずっとテーマになっていて、これだけの内容の濃いものがうまく広報されてない。実行委員会の中だけで広報の仕方が話に出てくるが、ぜひ来年は運営委員会でも、どういう広報の仕方をしたらいいか議題にしてもらいたい。

委員

プレ・フェスタで、ひとつのイベントが終わるとどっと帰ってしまう。展示も見てもらえるような流れを変えたい。

所長

今回は展示のアンケートを書くことで景品があり、おそらく学生が回答したのではないと思われるアンケートもあり、少しは展示を見てくれた方もいたのではないかな。

委員

以前より見てくれていると思う。

委員

QRコードからホームページを見てチラシが全部載っているのは、友達に勧めやすかった。

歌声や読み聞かせに大勢来るのは、高齢化の中で自分たちが認知機能とか介護予防につながる部分があるので、それは必要としていることなのかもしれないと思う。エポック 10 や活動を知ってもらうことをこれからも考えていきたい。

委員

来年の予定はいつか。

事務局

来年は 6 月 18 日 19 日 20 日の 3 日間で今年と同じく金曜から日曜で考えている。

【議題 3】としまジェンダー平等実現プランの策定等について

—委員からの質疑および意見—

委員

改正する名称の男女共同参画推進という言葉の使い方は、全国的に使われていると思うが、

ジェンダー平等推進という言葉に変わっていくのは、国全体で名前が変わることになっているのか。それとも豊島区か。

事務局 国は男女共同参画という文言を用いているが、これは、ジェンダーイクオリティを男女共同参画と訳して使っている。区としては独自に一步進めていこうということで、ジェンダー平等に変えていく提案をしているところ。

委員 豊島区が変えていくということでもいいか。

事務局 そうである。

所長 区の基本構想・基本計画を2025年に策定したが、その時に男女共同参画社会の実現という言葉でなく、ジェンダー平等社会の実現という言葉を使うようになった。ジェンダー平等だと、ジェンダーに対して平等ということなので、男女共同参画の概念も入るし、人権尊重も入る広い概念であるので、言葉としてそちらを使用した。ただ、今の男女平等推進センターの業務としても、男女共同参画のことだけでなく、平等的な人権尊重もしていて、ジェンダー平等という言葉を出していかうと考えている。

委員 全国から先駆けて動き出すのか。

所長 推進会議の審議で、国や都がまだ変わってない中、変えなくてもいいのではないかなという意見も一部あった。ただ、国が法律を変えるのはすごく時間もかかるところがあり、一自治体から先進的に変えていきたいという形で動いている。

委員 初めて聞く人は少し混乱するのではないかな。例えば今エポック 10 フェスタをする時の説明として、男女共同参画週間に、イベントを全国的に各市町村でやっているという話をした時に、男女平等推進センターという言い方だから、全国でやっているという感じになるが、豊島区だけジェンダー平等という言い方になると言葉が変わるだけだが、知らない人、初めて聞く人には混乱してくるのかなと感じた。その辺は丁寧に説明をしていく必要があると考える。

委員 資料を見た時に男性という言葉がすごく少ない。男性の生きづらさへの支援というものもあるが、まさに男性にとって、生きづらさは一つ大きなポイントだと思うが、女性の割合があまりにも多いので、ジェンダー平等となった時に、もちろん現実として女性の方が貧困は多いし、困っている人の割合が高いと思う。ひとり親も女性の方が多く、賃金格差もあるが、男性への気配りがもう少し必要。ここで活動しても、女性の割合が多いので、女性だけの場に見られがちだ、男性たちからの視点が抜け落ちがちだし、本当に助けが必要な男性を拾えていないのでは、という懸念もある。もちろんそれもフォーカスするのが目標だと思うが、やはり入ってきにくいんじゃないかなという。

所長	これは審議途中のもので、推進会議の委員のからもご意見いただきながら、より良いものにしていきたいと考える。気づいたことがあったら皆さんからも教えていただきたい。
委員	プランの目標は3つに減らしているのか。
所長	これまでのプランでは困難女性支援計画が別立てだった。今回のプランから入れるようになった。当初の事務局の案は、今までの3つの目標の他に4番に困難女性を一つ出そうと考えていたが、推進会議の中で、男女共同参画推進プランでなくて、ジェンダー平等にするのであれば、女性の偏りがあるので、変えた方がいいのではないかと意見があった。現在はこの形になっている。
委員	前回推進会議の傍聴をした。その時に男女共同参画推進プランの前は婦人行動計画という名称で、女性の色が強い名称だった。現在は過渡期なのではないか。SDGs にはジェンダー平等という言葉があるし、子供たちも学校で習ってきているし、ジェンダー平等という言葉は普通に世の中にあり、パートナーシップなどの言葉が昔はなかった時代から徐々に変わってきている段階なので、これからも期待したい。次の傍聴もしたい。
委員	11 月にパブリックコメント向けの説明会がある。ご興味ある方は是非ご参加を。
委員	プランの体系図案にある目標は、現状達成しきれてはいない部分があるから、施策の方向性を示していると思う。 今大事なことは、現状どうなのかという認識が、この問題について詳しい人とそうでない人の間で結構な格差があるのではないかな。 女性で、その当事者だとすれば、割と情報が入ってきやすいかもしれないし、男性だと男性の生きづらさの情報は多く入ってくると思うので、このプランの体系図の中に無理に載せなくてもいいと思うが、実際にプランとなった時に、現状どうなのかを明らかにするのは大事である。1番の②ジェンダー平等意識普及啓発活動の一つとして、現状、豊島区がどういう状態あるのかをしっかりと周知していくものが入ってくることになると思うが、ここが揃わないと、他の施策に対しての重み付けの認識が揃っていきづらいと考える。施策、目標の間に現状という項目が入ってくると、だからこの施策、だからこの施策の方向性と根拠づけられると、違和感を取れていきやすいのではないかと思った。今後も期待したい。あと、同じく目標1の⑦男女平等推進センター機能が充実で、それは大変楽しみである。 他の区がここまでの人数を割かなかったり、こういう委員会もあんまり頻繁に開催しなかったりというのを聞いたりするので、ここは豊島区として大事にしたいポイントなんじゃないかと思う、我々も頑張らないといけないと思う。
所長	文章の中に、施策の方向ごとに現状と課題があり、そこに住民意識調査データのところもあり、こういう意識調査で何パーセントだったとかというような現状と、こういうことが課題であるという内容を書いてある。前回のプランの中での施策よりも、新しいことも付け加えていき

たい。

【議題 4】連絡事項について

委員長 【次回日程:10月21日(水)15時 研修室 2】とする。

事務局 第一回の議事録は8月5日までに不明点等があれば連絡してもらいたい。今回の議事録は9月中に送付する。

委員長 以上で第2回男女平等推進センター運営委員会を終了する。

提出資料

資料1-1 R8 年度第2回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整 G)
資料1-2 R8 年度第2回運営委員会 事業報告(事業企画 G)
資料1-3 R8 年度第2回運営委員会 事業報告(相談 G)
資料2 令和8年度「エポック10フェスタ2026」事業報告書(抜粋)
資料3-1 としまジェンダー平等実現プランの策定等について
資料3-2 としまジェンダー平等実現プラン素案
資料3-2 別紙 プランの体系図案